

学校名	更府小学校		
ホームページURL	www.city.nagano.nagano.jp/school/kofujs/school.htm	児童・生徒数	64名
(1) テーマ 「私にできる環境保護」 テーマの分類（ - ウ ） 下記の欄外記載事項を参照してください。		(2) 活動の単位に○をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他（ ） 該当学年 6年 10名 (回答可能な場合)	
(3) 活動のねらい ・環境保護活動について、調査、実践する活動を通して、環境保護への関心を一層高める。 ・自分で課題を見つけ、それを追究することで課題解決力を伸ばす。 ・関係の方々との関わりのなかで、自分の生き方を見返したり、新たな願いをもったりする。			
(4) 活動の実際（活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等） ・低学年頃から続けてきた「炭を焼いて、それを川に沈めて川の水を浄化する」活動を中核に据えて、それぞれが環境保護についてテーマをもち、個人あるいはグループで追究し、まとめて発表することを行ってきた。 ＜環境保護に関するテーマ例＞ ・台所から出る水をきれいにするには ・森の働き ・炭の活用、利用法 ・ケナフを育て紙をつくる ・リサイクル活動 時数（70）			
(5) 指導体制（校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等） ・総合的な学習の時間は原則として担任が一人で指導した。 ・「炭焼き、川の浄化」は、全員で行う中核活動とし、地域の炭焼き職人さんを特別講師として招いて指導していただいた。 ・グループ追究では、実験や実習をおこなう班には担任が常につくようにした。			
(6) 指導上の留意点（時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等） ・総合的な時間での学習の経過は学級通信などを通じて各家庭に連絡し協力を願った。 ・炭焼きを行う日には、保護者の方にも参加していただいた。 ・こどもエコクラブに参加し、他クラブとの交流や活動成果の発表を行った。 ・「わかりやすい発表」を目指して、国語、算数、理科などで培った力が発揮されるような場面づくりに心がけた。			
(7) 評価（基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際） ・毎時間（2時間続き）今日の計画と活動内容・成果、次時の予定をカードに記入させ、活動したことを累積させたり、学期ごと自己評価カードで振り返らせたりした。 ・家庭には、学期ごと通知票に一人一人の活動の様子を記述して、様子を知らせた。評価の方法は主に観察による。			
(8) 成果と課題 ・活動のまとめの中から、教師のちょっとした助言で次にやりたい内容を見つけだせるようになってきた。 ・環境保護について、日常的に自分でできる活動がわかってきた。 ・まとめたり発表したりする力が伸びてきた。			

テーマの分類	横断的・総合的な課題（	ーア 国際理解	ーイ 情報	ーウ 環境
ーエ 福祉・健康	ーオ その他）	児童生徒の興味・関心に基づく課題		地域や学 校
の特色に応じた課題				